

令和3年度 学校評価集計結果の分析・考察及び改善策の検討

	評 価 内 容
1	本校は「生徒が指宿高校へ入学してよかった」と思えるような取り組みを行っているか？
	<p>1 集計結果の分析・考察 全学年とも生徒・保護者の評価は◎(A+Bの割合 80%以上)である。特に2, 3年は生徒・保護者とも最頻値がA(よくあてままる)であり, 満足度の高さがうかがえる。また, 職員も◎が88パーセントであり, 指導の充実が感じられる。</p> <p>2 改善策及び今後の在り方・方向性等 1年次の評価が2, 3年の評価と比較して低いのは, 過ぎた時間の差によるものと推測する。また, 職員の評価については最頻値がAになるよう職員一人一人がさらに努力すべきであろう。</p>
2	本校の職員は, 授業が分かりやすく, 充実したものとなるよう工夫しているか？
	<p>1 集計結果の分析・考察 全学年とも生徒・保護者の評価は◎(A+Bの割合 80%以上)である。その一方で3年生徒についてはC, Dが11パーセントある。授業でハイレベルな問題を扱ったり, 模試成績で伸び悩んだりしていることが主な要因と考えられる。</p> <p>2 改善策及び今後の在り方・方向性等 全学年の生徒・保護者とも最頻値はB(ややあてままる)である。職員一人一人が現状に満足せず, 最頻値がA(よくあてはまる)になるようさらなる授業改善に取り組みねばならない。</p>
3	本校の職員は, 宿題の量の最適化を図っているか？
	<p>1 集計結果の分析・考察 職員・保護者・1, 2学年生徒については◎(A+Bの割合 80%以上)である。3学年生徒のみ77%で△となっている。 保護者アンケートのA+Bの割合で, 最も低いのが2年 81%であるが, 2年生徒アンケートのA+Bの割合 90%のため, 保護者との差が大きい。</p> <p>2 改善策及び今後の在り方・方向性等 学力検討会や学年会での情報交換をもとに課題の量の調整をし, 課題の個別最適化をさらに進める。</p>
4	本校の職員は, 宿題以外の自発的な自宅学習について, 的確な助言を与えているか？
	<p>1 集計結果の分析・考察 職員及び1学年保護者のみ, △(A+Bの割合 79%~50%)である。 生徒に関しては全学年◎で 90%を超えており, 生徒と職員の差が大きい。職員が意識せずとも生徒に助言ができていとらえることもできる。1 年保護者には, 宿題以外の学習についての助言が生徒の姿を通して伝わっていないとみられる。</p> <p>2 改善策及び今後の在り方・方向性等 「宿題以外の自発的な自宅学習についての助言」という項目であるため, 3で掲げた「課題の個別最適化」がさらに進めば解消されと考えられる。成績層別や進路別の課題について教科会や学年会で情報共有し, その内容を教育相談にいかせるようにする。</p>
5	本校の職員は, 進路・学習等に関する相談・面談・声掛けを十分に行っているか？
	<p>1 集計結果の分析・考察 職員・保護者・生徒ともに◎(A+Bの割合 80%以上)である。特に, 生徒へのアンケートでは全学年で90%を超えている。 保護者アンケートのA+Bの割合で, 最も低いのが1年 83%, 次いで3年の 89%。1年生徒アンケートのA+Bの割合 97%のため, 保護者との差が大きい。</p> <p>2 改善策及び今後の在り方・方向性等 教育相談の充実と相談で出てきた内容の情報共有を学年間や係会で行う。</p>

6	本校は、授業以外の活動(部活動、生徒会活動等)を充実させる工夫を行っているか？
<p>1 集計結果の分析・考察 職員・生徒はすべて◎だったが、保護者に関しては1・3学年で△となった。生徒会活動は学級役員活動も含まれているが、一人一人が学級で役割を果たせたという実感を持たせる必要がある。そうすることで保護者にも意義が伝わるはずだ。</p> <p>2 改善策及び今後の在り方・方向性等 学期末のLHR等で学級役員としての振り返りを、キャリアパスポート等を用いて実施してもらう。</p>	
7	本校は、総合的な探究の時間、ボランティア活動、地域連携活動等を充実させているか？
<p>1 集計結果の分析・考察 3学年保護者の△を除き、すべて◎であった。1,2学年において新たに「柏葉 ACTIVA」を打ち出したことが関係していると思われる。</p> <p>2 改善策及び今後の在り方・方向性等 「柏葉 ACTIVA」は、まずまずのスタートを切ったと思われるが、外部にはほとんど浸透していない。今後、外部との連携も含め、慎重に実践し、徐々に地域へ浸透させてきたい。</p>	
8	本校は、安心・安全で衛生的な生活環境を整えているか？
<p>1 集計結果の分析・考察 すべての評価者において◎であった。コロナ対策をはじめ基本的な衛生対策をハード面だけでなく生徒・職員が意識して行動をしている結果だと考える。また、保護者に対しては、安心安全メールで適時お知らせをしていることも安心に繋がっていると考える。</p> <p>2 改善策及び今後の在り方・方向性等 今後も月始めの安全点検を徹底するとともに衛生面の啓発を緩めることなく行っていく。</p>	
9	本校は、生徒にルール・マナー・エチケットを守らせることができているか？
<p>1 集計結果の分析・考察 B以上が、生徒は全学年91%以上、保護者は全学年94%以上と良好である。 生徒と保護者の比較では1年生は生徒の割合が4%高く、2,3年生は保護者の割合がそれぞれ3%,4%高い。いずれにせよ素直な生徒が多く、ルールやマナーを守る意識が高い。また、この生徒を育ててきた地域性にもよるものとも考えられる。</p> <p>2 改善策及び今後の在り方・方向性等 今後もこの状況を維持向上するために、社会生活を送る上で欠かせないルール・マナー・エチケットを守ることの大事さを日々の学校生活の中で伝えたり、感じたりできる教育活動に努めていく。</p>	
10	本校は、学級便り・ブログ等で学校の様子がよく分かるよう工夫しているか？
<p>1 集計結果の分析・考察 全学年で保護者の95%が○以上の評価をつけている。校長ブログなどを始め、学校の様子をこまめに発信した結果と思われる。</p> <p>2 改善策及び今後の在り方・方向性等 今後も各方面と協力しながら、配布物、市の広報紙への掲載、ユーチューブの学校紹介配信などあらゆる媒体を使用し、教育活動を発信していく。</p>	
11	あなたは、積極的に業務改善を進めていますか？
<p>1 集計結果の分析・考察 88パーセントの職員が業務改善に取り組んでいる様子がうかがえるが、最頻値はB(ややあてはまる)である。</p> <p>2 改善策及び今後の在り方・方向性等 業務改善で得られた時間を「生徒との対話・指導」に充当すべく、業務改善に対する職員一人ひとりの意識をさらに高めていく。</p>	